令和8年 10 月 30 日（金）

旭中学校だより

＜学校の教育目標＞
○学び続ける生徒
○思いやりのある生徒
○やりぬく生徒
○たくましい生徒

可能性を広げ、日々の成長へ

校長 久 米 達 夫

朝夕の冷え込みが増し、木々の葉も色づき、秋の深まりを感じる季節となりました。町内を吹き抜ける風にも冬の気配が感じられるようになり、今年も残すところ２か月となりました。

１０月２日に開催した旭中祭では、生徒たちの生き生きとした姿が数多く見られました。劇やパフォーマンスなど、それぞれの場面で失敗を恐れず、伸び伸びと自分たちを表現する姿から、一人ひとりがもつ可能性の大きさを改めて感じました。仲間が力を合わせながら、一つのものを創り上げていく経験は、生徒亜地にとって大きな自信につながったことと思います。

中でも、合唱コンクールにおける3年生の姿が、特に印象に残っています。歌声のすばらしさはもちろんのこと、合唱に向かう姿勢や仲間と心を一つにしようとする姿、そして行事全体を支える立ち振る舞いには、最高学年としての自覚と誇りが感じられました。その姿は、1・2年生にとって大きな手本になったことと思います。3年生が築いたものが、後輩たちに受け継がれ、来年、再来年の合唱コンクールがさらに素晴らしいものになることを、今から楽しみにしております。

一方で、旭中祭で見せてくれた頑張りや仲間を思いやる気持ちを、日々の学校生活につなげていくことが、これからの課題でもあります。学校生活の中では、時に周囲への配慮が足りなかったり、もう少し落ち着いて物事に向き合ってほしいと感じたりする場面もあります。授業においても、一人ひとりが自分の学びにしっかりと向き合い、集中して取り組む姿をさらに期待しています。

旭中祭であれほどの力を発揮できた皆さんだからこそ、その力は日常の中でもきっと生かせるはずです。仲間と協力すること、相手の気持ちを考えて行動すること、自分のやるべきことに真剣に向き合うこと。特別な行事のときだけでなく、毎日の何気ない場面でもこうした姿が見られるようになったとき、皆さんはさらに大きく成長していくのだと思います。

３年生は、これから進路選択の時期に入る今だからこそ、その力を発揮してもらいたいと思います。

本校が目指すのは、「生徒一人ひとりが夢や希望を語れる学校」です。自分のよさや可能性を信じ、仲間のよさを認め合い、共に高め合う。旭中祭で見せてくれた生徒たちの輝きを一過性のものにせず、日々の学校生活の中でさらに磨いていけるよう、これからも一人ひとりの成長を支えて参ります。